



植木がきちんと根付いて成長する活着率を意識した工夫を施すよう心掛けています。



数年に1回、下枝や枯れた枝を切り落とす枝打ち作業。細かい作業の積み重ねが、高品質な材木づくりには欠かせない。



霧島・国分を中心にバンド活動を行うメンバー。ライブやツアーへの参加も仕事同様、全力投球！



子ども向けの林業PRイベントでは、機械の乗車・操作体験や丸太切り体験など、木と触れ合える催しを企画。



森林を守り育て、次世代につなぐ。 趣味に仕事に全力投球の若手林業チーム！

霧島造林のメンバー。森づくりの楽しさや意義をメンバーで共有しながら、知識や経験を積んでいる。

キラリ



林業

再造林・育林業

取材協力

霧島造林
高橋 宏和さん

20歳で兵庫から霧島に移住。5年ほど前に異業種から林業に飛び込み挑戦を続ける傍ら、地元メディアでタレント活動なども行う。



再造林・育林とは、今と 未来の暮らしを守る仕事

環境を保全し、次の世代に良質な木材資源を残すため、日々黙々と森林に向き合っている若者たちがいます。地主からの依頼を受け、伐採後の森林に植林し育てる再造林・育林の仕事を担っている霧島造林のメンバーです。

人手不足と言われる造林業の世界で代表の高橋宏和さんが事業を始めたのは5年ほど前のこと。今の日本の林業は、材木価格の低迷や機械化による伐採面積の増加により、再造林が追い付いていないのが現状です。高橋さんをはじめ、霧島造林のメンバーは、「今自分たちが使っている木材は、おじいちゃんやひいおじいちゃん世代の人たちが植えて育ててくれたもの。消費するだけでなく、次の世代のために資源

林業と向き合い一歩ずつ 広げる”若手の星”

霧島造林のメンバーは20代が中心で、子育てや趣味に打ち込む時間と仕事をしっかりと両立させています。それは高橋さん自身がバンド活動と仕事を両立させていたため、休みが取りやすく自由な社風を持つ会社にしたという思いが念頭にあったからだといえます。また、引きこもりやニートの方でも働きやすく、社会に出るきっかけになればと、トライアル雇用制度を活用。林業と福祉の連携にも取り組んでいます。

さらに、「きつくて稼げない」という林業のイメージを覆し、林業に携わる人手を増やすことも高橋さんの活動目的の一つです。縁あって始めたというコミュニティ

を残さなくては」と話します。この思いを胸に、高橋さんたちは一つ一つ森づくりにくことを学びながら、活動の範囲を広げているとのこと。伐採後の森林で再び材木が採れるまでには、実に50年以上かかると言われています。丸太や枝葉などを片付ける地直しを行い、スギやヒノキ、クヌギなどを植林、その後は長い年月をかけて、下刈り（除草）や、林内に陽光を入れ、節のない良質な木材に仕上げるための枝打ちなどを行いながら、森林を育てていきます。「森林は、家づくりの建材の確保だけでなく、地球温暖化などの環境問題や大雨による災害の防止など、私たちの暮らしと密接に関わっているため、手入れや造林をきちんとし、その森林を守り育てていく必要がある」と高橋さんは話します。

FMのラジオパーソナリティや、ケーブルテレビでの市民レポーターの仕事においても、県外出身だからこそ分かる鹿児島の良いところ、林業の魅力などを発信することで、林業の認知度向上や、若者の県外流出を食い止めようと試みています。

霧島造林の今後の目標は、現場ごとの地質環境に合わせた森づくり。持続可能な林業経営を目指して、造林・育林の前段階である伐採にも樹木の成長を促す方法で取り組もうと模索中です。まだまだ人の力による作業も多く、機械化や現場までの路網整備など課題は多いものの、メンバーの生き生きと働く姿から、林業界のホープたちの今後の活躍が期待されます。

【Music Forest】
FMきりしま(76.9MHz)
毎週木曜20:00~
毎週日曜19:00~
※アプリダウンロードで、いつでもどこでも視聴可能!

【新霧島放浪記】
MCT南九州ケーブルテレビ
毎日23:00~

お知らせ

林業への就業を支援します！

「鹿児島きこり塾NET」
ホームページアドレス: <https://k-kikori.jp/>
を開設しました。

就職希望者に対する就業相談、各種研修制度、その他林業に関する情報を提供していますので、ぜひご覧ください。

■問い合わせ先
県庁森林経営課 県林業労働力確保支援センター
☎099-286-3357 ☎0995-54-3131